

## 令和5年度 第2回 大垣市行政改革推進審議会 会議録

日 時：令和5年10月4日（水）午後1時55分から午後4時10分まで

場 所：大垣市役所 3階 会議室3-6

議 題：令和5年度事務事業の検証

- ・ 公共施設維持管理事業
- ・ 市民農園ふれあい事業
- ・ 水都っ子ウィーク事業

出席者（敬称略）

（委員）谷江 幸雄〈会長〉

田中 久志、野崎 道哉、小林 一貴、高木 健志、今井 茂樹、杉田 邦隆、  
田中 慎也、松山 昌代、岡本 敏美、小菊 天瑠、谷口 圭子【計12人】

（市及び事務局）

大角 精樹（契約管財課対策官）、浅野 誠（農林課長）、  
浅井 靖弘（子育て支援課長）、  
岩崎 義博（総務部長）、豊田 貴洋（行政管理課長）、  
加藤 重徳（行政管理課主幹）、今尾 智子（行政管理課主任）、  
後藤 澄光（行政管理課主任）

欠席者（敬称略）（委員）多和田 智子

事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>※ 委員の交代を紹介</li> <li>※ 欠席者の報告（1名）</li> <li>※ 行政の意思形成過程にあるものとして、非公開審議を宣言                  &lt;議事進行については、大垣市行政改革推進審議会設置条例第5条第2項の規定により、会長が会務を総理することとなっているため、以降の議事は会長が執り行う。&gt;</li> </ul>
事務局	<会議冒頭あいさつ>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>※ 議事録署名者として、小菊 天瑠委員と谷口 圭子委員を指名。</li> <li>※ 事務局に対し、議題(1)令和5年度事務事業の検証①公共施設維持管理事業についての補足説明を要請。</li> </ul>
事務局	※ 公共施設維持管理事業についての補足説明。
会長	※ 契約管財課公共施設管理対策官に対し、議題(1)令和5年度事務事業の検証①公共施設維持管理事業についての説明を要請。
担当課長	※ 公共施設維持管理事業について説明。

会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ただいまの説明に対してご質問等ございますか。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設の維持管理に関して、人口問題とリンクしているかと思います。2060年に人口15万人の維持という人口ビジョンを出しておりますが、実現可能性というのはどうなのでしょう。</li> </ul>
担当課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国立社会保障・人口問題研究所の推計が10万6千人に対して、15万人を維持する根拠ですが、「大垣市人口ビジョン」では、目指すべきビジョンとして示させていただいております。</li> <li>・具体的には、自然減対策として出生率の向上による人口の維持、また社会減対策として地域の魅力向上により人口を維持することとしております。社会減対策については、流入人口の増加を目指してシティプロモーション事業等を行い、大垣市への移住・定住を進めていきます。</li> <li>・自然減対策として出生率の向上、社会減対策として地域の魅力向上という視点で人口15万人を維持していきたいという考え方でございます。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10万6千人という推計を参考にするのか、あるいは人口ビジョンの15万維持を参考にするのかによって見方が全く違ってくると思います。</li> <li>・公共施設の見直しに関しても、この二つの大きな絵をどうやって理解するのか非常に難しいと思います。</li> <li>・どちらかに決めていって、それについて議論すべきかと思いますが、どうでしょうか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市としましては、かなり難しいと思いますが、様々な方策をとることで人口ビジョンの15万人規模を維持できるような体制で進めていくことを考えております。いろいろな課題がありますが、今の人口ビジョンに基づいた形での検討が望ましいかと考えております。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人口ビジョンを目指していくということですから、15万人をベースにして考えていくという形よろしいですね。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人口ビジョンに基づいて、人口を維持していくあるいはそれ以上のお話ですが、今後、人口ビジョンを見直すことはされていくのでしょうか。合計特殊出生率について、2012年の1.53というのは実数だと思いますが、2025年に1.80、2060年に2.07というのは結構ハードルが高いと思いますので、常に見直していかれるのかを確認したいと思います。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こういったサイクルかまでは確認できておりませんが、この状況が何年か経った時に、明らかにかけ離れたものであれば見直す必要があると思いま</li> </ul>

	す。
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どこの自治体でも人口減少は最大の課題だと思いますので、ぜひその辺もしっかりしていかないと、せつかくのものが計画倒れに終わってしまうのではないかと思います。これからの社会についての検討をするときは重要なことだと思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必需的か選択的か、市場的か非市場的かの中で、やはり中間の施設が多くあるように見えます。</li> <li>・先ほどのお話ですと、それぞれの施策に応じた施設というものが現状あるということですが、一つの施設を複数の施策で共通して使えるのでしょうか。例えば、奥の細道むすびの地記念館の会議室を地区センター会議で利用できるのでしょうか。</li> <li>・大垣城ホールであれば、いろいろな屋内のスポーツなどで使っている様子もわかりますが、片や隣の緑豊かな公園の方は非常に開放的なスペースです。何かそこは住み分けされた施設と考えるのか、共通のコンセプトのものと空間として考え、いくつかの施策をまたぐ形で使うといった、施策間で共通の施設といった議論などは何かあるのでしょうか。</li> </ul>
担当課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設のあり方ということになると思います。</li> <li>・他都市の事例ですと、老朽化した施設をどうしていくかということで、人口減少という時代を迎えているため、適正な人口規模に合った施設に建て替えるといった見直しも進められております。そうした中で、施設のあり方として、Aという施設とBという施設の機能を一つに統合する、複合集約化というような考え方もあると思います。あるいは、既存の施設に空きスペースがあるのであれば、他の施設を集めるというような集約化も考えられるかと思ひます。</li> <li>・ご質問で出ました奥の細道むすびの地記念館や大垣城ホールに限らず、人口が減少している中、施設の利用状況などを鑑みて、今後検討していくべき課題かと思ひております。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ただ、今おっしゃったような適正な人口規模という表現は、人口ビジョンの15万人なのか、今時点の人口なのかどちらを指すのが難しいので、そういう表現はいかがなものかと思ひます。</li> </ul>
担当課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・失礼いたしました。15万人を維持するという人口ビジョンに基づいて、施設の維持管理を進めるということです。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・確かに適正というと非常に難しく、何をもちて適正というのかはあります</li> </ul>

	<p>が、ただ今 30 年から 50 年経っている施設というのは、高度経済成長期の人口が増えている時代のコンセプトで作ったものですので、それが例えば人口減少の流れの中で目指す 15 万になったときに、人口と施設のあり方がそぐうものかというところと一般論としては違うかと思えます。そういった意味で少し乱暴に適正な人口規模って言い方をしておりますが、そういった観点かと思っております。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>例えば、人口ビジョンで子どもたちを極めて大事にしようといったときに、それぞれの施設自体が子どもたちに合った施設なのか、また若い人たちがどんどん来るための施設なのかといったことも、きちんと検証していかないといけないと思えます。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>目指すべき未来に子育て日本一とありますが、公共施設についてよくお母さん方から上がってくるのは、子育て日本一と言いながら児童館が各地区にないのはどうなのだろうという言葉が聞かれます。</li> <li>また、他自治体では小中学校の体育館に冷房を付けた事例もありました。これは過保護というわけではなく、体育館が防災の避難所などになっているため、そういったことを鑑みて冷房という話になっており、子育てだけではなく併用しながら地域の住民の方も一緒に、みんなで利用できるような感じで施設が変わっていけばいいという声が、よくお母さん方から聞かれます。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>冒頭にご説明ありました人口 15 万人というビジョンがあり、その下に公共施設があるのではなくて、その間に施策があります。</li> <li>例えば、今言われた子育てしやすい政策や子育てを促進させる政策という切り口で見ると、またこの公共施設の分類なども変わってくるかと思えます。必需性とか市場性も重要だと思えますが、そういった軸がたくさんあり、大垣市特有の施策の方向性という軸や切り口で公共施設の方を評価していくことも、今後重要だと思えます。</li> <li>人口イコール公共施設ということではちょっとないと思えますので、そこは申し上げたいと思えます。</li> </ul>
担当課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>ご指摘いただきましたとおり、大垣市の一番上位の計画として未来ビジョンがございます。それに倣って公共施設の総合管理計画等を策定しており、公共施設の整備等に関することも上位計画に基づいて実施していくこととなります。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>契約管財課公共施設管理対策官さん、ありがとうございました。</li> <li>それでは、次の事業に移ります。</li> </ul>

	<p>※ 農林課長に対し、議題(1)令和5年度事務事業の検証②市民農園ふれあい事業についての説明を要請。</p>
担当課長	<p>※ 市民農園ふれあい事業について説明。</p>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ただいまの説明に対しましてご質問等ございましたらお願いいたします。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南若森町（東）の利用率がかなり前からずっと0%ですが、今どういう農園の状況と利用の状況にあるのでしょうか。</li> </ul>
担当課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用率を高めるために、地域を中心に利用者の募集や声掛けなどはしておりますが、なかなか利用者が増えないというのが正直な現状です。もちろん利用されていない区画の草の管理につきましては、こちらの方で業者に委託しており、すぐ作物が作れる状態には維持しております。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の方に対するアンケートなどを過去取られたことがあるのでしょうか。</li> <li>・どのような範囲に居住している人が利用者の方の中心なのか、例えば本当にもう歩いて行ける範囲ばかりなのかわかれば教えてください。</li> </ul>
担当課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者アンケート等につきましては、私の就任以前は確認できておりません。就任して以降については、実施しておりません。</li> <li>・どのような方が利用しているかにつきましては、市民菜園は広域的な利用をさせていただいております。高齢者健康農園につきましては、その地域の周辺の方で徒歩や自転車で来られるような方が利用をされております。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的にはもう高齢者のみでなくていいと思います。例えば子供たちが土に親しむなど、取り込めるように対象を広くしたらどうかと思います。その場合は、近隣だけではなく幅広くいらっしゃることになりますので、駐車場がどのような感じになっているのかも考える必要があるかと思います。</li> <li>・使用料については、別にもう少し上げてもいいかと思います。今の時代だったら逆に需要が高まっていますので、50%以下というのはあり得ないという気がしています。なぜこんなに低いのか不思議ではないです。</li> </ul>
担当課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご提案いただきましたとおり、やはり高齢者に限定するということを変える必要があるかと思います。実際、初めての農業体験という種まきや収穫作業などの体験を、別事業で募集をかけて実施しておりますが、ここに参加される方はほぼ親子で参加されてます。その際に私どもも、こういった</li> </ul>

委員	<p>市民菜園で年間を通じて利用できる事業もありますということをPRしておりますので、今おっしゃられたように本当に幅広く参加できるような形の事業設計ができればと思っております。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・使用料につきましても受益者負担というのがやはり原則ですが、どの程度を標準とするのか他市の事例を参考にしつつ、土地の借上料の部分くらいは受益者負担で賄えるようにするなど、見直しできないかという思いは正直ございます。</li> <li>・土地を貸している人の立場からしますと、貸しておけば自分で草刈りする必要が全くありませんので、非常にありがたいと思います。例えば、利用者がいなくても業者が草刈りを行ってくれますが、そこまでやる必要はないかとも思います。それよりも、より利用しやすい制度にしていきたいと思います。</li> <li>・利用料が安いに越したことはありませんが、どの程度までなら大丈夫なのかは利用者の意見をきっちり把握していればわかると思います。先ほどアンケートについて言いましたが、ぜひそれをやっていただきたいと思っております。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親族が他市でこのような農園を一区画借りて、キュウリやナスや夏野菜を作っておりますが、歩いて行けないことはないけれども、ちょっと遠いから車で行くと言っていました。</li> <li>・また、知らない間にちょっと助けてもらっている様なこともあり、例えば、支柱を立てるやり方が駄目だったのが、ちょっとやり直してあつて丈夫にしてもらっていたなどがあります。近くの畑を借りていらっしゃる方がやってくださったのか、ボランティアみたいな形で教えてくださる方が居るのかは把握しておりませんが、全く知らない若い人たちがやるときに、そういった方がいらっしゃると取っ付きやすいかと思ひますし、ぜひ高齢者に限定せずに幅広い世代へ広げていただきたいと思ひます。</li> </ul>
担当課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・以前に市民菜園の方で、年に3回から4回日にちを決めて、指導者付きという形で、育て方がわからない方はアドバイスなどを受けられるようなことを実施しておりました。やはりそういった育て方などを教える指導者ということも考えられるかと思ひます。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大垣共立銀行さんが農園でいろいろやってらっしゃって、非常にたくさんの人からものすごい人気があると聞いております。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大垣市内に農場を持っておりまして、やはり農業に対する興味などが非常に高くなっております。例えば、田植えや稲刈りなど農業体験のイベン</li> </ul>

	<p>トを開催しますと、先ほどのお話にありましたとおり、結構若い方やお子さんがたくさんいらっしゃいます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・先ほどお話がありましたが、むしろ若い方をぜひ対象にされた方がいいかと思えますし、あるいは、例えば幼稚園や保育園など教育機関との連携ということも一つの方法としてはあると思えます。</li> <li>・先ほどの未来ビジョンの話で、出生率の向上というのが至上命題になってくるとすると、大垣市に住めばお子さんに農業体験をさせることができるというのが、一つの強みになってくると思えますので、ターゲットを検討していただければと思います。</li> <li>・また、そういった方はおそらくコンスタントに畑には行けないですから、先ほどの指導者、サポートの方は必ず必要になると思えます。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単純な疑問なのですが、高い利用率のところの約90%から0%ところまであるのは、そもそもどのような要因とお考えでしょうか。</li> </ul>
担当課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開設してある地域周辺の老人クラブの関係などから、口コミで広がって利用するというケースが実情です。</li> <li>・そういった中で、地域によつての活動の温度差のようなものも起因しているのかと感じております。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・口コミ等で広がる可能性が、あまりない場所とある場所があるということでしょうか。</li> </ul>
担当課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老人クラブ等が活発なところでしたら、そういったところから中心にPR等をして、空いているから使ってはどうかといった地域の働きかけもあるのかと思っております。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業体験ができるなどの案内は、広報に掲載したりしていますか。</li> </ul>
担当課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年に1回、広報で募集をかけておりますが、やはり地域が限られておりますので、その地域内程度で終わってしまっているのが現状です。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報や利用者の口コミで広がるということであれば、どこまで知られているかが大きいと思います。</li> </ul>
担当課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用条件が、農地を所有していないですとか、高齢者ということですので、どうしても市街化区域の方というイメージができています。</li> <li>・事業が始まって約半世紀になりますので、開始時のコンセプトがどうだったかはわかりませんが、街中の高齢者で農家さんではない方の健康作りと</li> </ul>

<p>委員</p>	<p>というようなことで、街中に固まっているのかと想像しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ そうなると、やはり駐車場のスペースもありませんので、そういった地域組織を活用して、今までやって来たというような思いがしています。</li> <li>・ この事業自体が、こういった審議の場に乗ったこと自体がいいことだと思います。今まで全くそれはなかったわけですから、乗って議論すれば簡単に100%になると思いますので、上げていただいたことは素晴らしいことだと思います。</li> </ul>
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民菜園と高齢者健康農園で別にしておりますが、それを一緒にした方がいいかと思います。50年近く経ちますので、当時はおそらく高齢者の方という思いだったかもしれませんが、一緒にすることで高齢者の人と若い人との交流の場に繋がってくるかと思います。</li> <li>・ また、加賀野の市民菜園を実際に見に行った時は、看板はありましたが見えないところ、一番東側にありました。そこが市街化調整区域ですので、少し離れていますから、どうしても車などでしか行けないこともあります。他の方にもわかるように、例えば西側の道路に面した場所に設置すれば気がつかれるのかと思います。</li> <li>・ 100%が利用されていませので、使っていないところは草が伸び放題みたいになっていました。やはりそうなると、環境的にもどうかという思いがあります。草なんていうのは、本当に年に3、4回刈らないとすぐ伸びてきますから、経費的には難しいかもしれませんが、対応していけるかと思っています。</li> <li>・ 例えば、耕作しているところに荷物を持っていくのに台車を使おうと思っても、ちょっと幅が狭かったりすることがあるかと思っています。そういったことがうまく解消できれば、水や肥料を運ぶのにいいかと思っていますので、可能なところはそういう風に変えていただければいいかと思っています。</li> <li>・ 岐阜市の方も30数ヶ所あり、ネットにも地図や様子が掲載されています。これを見ると、水道設備やトイレ、避難やちょっとした器具を入れるような小屋みたいなものが設置してあります。そういったものがあると、例えば夏場にわか雨が来たときでも避難ができますので、環境整備もしていかないといけないかと思っています。</li> <li>・ 50年ぐらい前のときは、土地を提供して借りて使っただけであれば、という状況だったかもしれませんが、それがだいぶ時間が経っておりますので、そういった配慮も必要ではないかと思っております。</li> <li>・ 利用率の低いところは、希望がないのですからあえて残すというよりも、もう閉園にしてもいいかと思っています。</li> <li>・ 福祉施設などではよくありますが、意見箱のようなものを設置していただければ、耕作をしている方たちが何を望んでいるか、何を思っているかが</li> </ul>

	<p>わかると思いますので、そういったことも取り入れていけるといいかと思 います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・この事業は健康作りやいろいろな面で、すごくいいことだと思いますので、 続けていただきたいと思っております。</li> <li>・また、初めて農業に携わろうとしても何をしたいかわからないことがあ りますので、意見箱から出てきたことについて農業振興ということも踏ま え、例えば JA に講習会開催の協力をお願いするなど、他団体の組織の力 もお借りしてもらおうといいかと思ます。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の方が対象ということもあり、本事業を知らなかったということと、 一般の農園とこの事業の対象である農園との違いが、現地ではあまりわか りませんでしたので、PR というところが少し弱いかと思しました。</li> <li>・若者の利用者の増加について、私も 60 歳以上ではなく若者を対象にする といいと思います。また、周辺地域の小・中学校などにも農業体験の一つ として実施し、その後農業体験だけでなくこういった事業をやっているとい う PR をすることで、小学校や保育園などお孫さん・お子さん世代たち からも PR が変われば、利用者増加に繋がるのではないかと思しました。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私の知人にもこういった農園を借りている人がいまして、年によってはす ごく沢山できて、配りきれないこともあります。これをやると赤字が増え るかもしれませんが、使用料を野菜で納入するというのも一つかと思いま す。ベテランの高齢者の方にはやりがいと言いますか、作りがいというこ とももたらずのかと思ますので、ちょっとそういうようなこともご検討 いただければと思ます。</li> </ul>
担当課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ありがとうございます。参考にさせていただきます。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農林課長さん、ありがとうございました。</li> <li>・それでは、次の事業に移ります。</li> </ul>
担当課長	<p>※ 子育て支援課長に対し、議題(1)令和 5 年度事務事業の検証③水都っ子 ウィーク事業についての説明を要請。</p> <p>※ 水都っ子ウィーク事業について説明。</p>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ただいまの説明に対しまして、何かご意見等ございましたらお願いいたし ます。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こどもまんなか応援サポーター宣言とは具体的にはどのような内容なので</li> </ul>

<p>担当課長</p>	<p>しょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・こども家庭庁が、子どものために何が最も良いかを常に考えて、子どもたちが健やかで幸せに成長できる社会を実現するために、このこどもまんなか宣言の趣旨に賛同するような自治体や企業がサポーター宣言をするというもので、子どもを真ん中に据えて物事を考えていきたいと思いますという趣旨のものです。</li> </ul>
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水都っ子ウィーク事業の啓発活動の効果の測定の仕方というのは、やはりイベントの参加人数とかで測られているのでしょうか。</li> </ul>
<p>担当課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベントの参加人数というよりも、なかなか効果を見るところがないのが現状です。皆さんが子どもと一緒に過ごす時間を大切にいただけたということを趣旨として置いておりますので、効果があると言われると、なかなか検証が難しい状況でございます。</li> </ul>
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この前市役所 1 階のスペースでいろいろな子ども関係の展示がありましたが、大垣市が子育て日本一ということ宣言してやっているのであれば、ほんの少しのところでもいいですので、市役所の中に常設のスペースを置いて、そこへ行けば子ども関係のいろいろな情報が得られる、あるいはイベントなどができるようなスペースを常設した方が良いのではないかと思いますので、ぜひご検討いただきたいと思います。</li> </ul>
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水都っ子ウィーク事業ということで、8月2日から8日まで中心的に事業をいろいろやっていただいて、子どもたちがいろいろなものに接する、あるいはそれを次に繋いでいくということですが、あくまで市がメインになっているかと思いますが、子育て支援条例の中には、地域ということ謳ってありますが、ここには地域との繋がりという内容のものはありません。</li> <li>・やはり地域で皆さん生活しているのですから、例えば8月2日から8日までの8月に限定するならば、地域でやっておられる夏祭りや地蔵盆などにも冠をつけてやっていただくというのもあると思います。</li> <li>・なかなか点在する施設まで出かけることができませんので、行政だけでなく地区での社会福祉協議会、そこにはいろいろな団体が加盟されているいろいろな事業をやってみえますから、そういったのも一つ、子育てしていく上では一緒にやっていくべきではないかと思っております。</li> <li>・事業を縮小・廃止した場合における影響について、啓発事業を充実させるということが謳ってありますけれども、このことはもう終わっていると思います。既に10年以上経っていますので、啓発するというのをやって</li> </ul>

	<p>いたら、また同じことを繰り返すこととなります。地域でというようなことをしていく、そういったことに支援をしていただくなど、もうちょっと前進していった方がいいかと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年も確か候補になっていると思いますが、牧田小学校でフラワーブローコンクールというのをやってみえて、小学校だけでなく、おそらく地域の人と一緒に作られて、県の審査に出られると聞いております。</li> <li>・このように地域でなにかしていけないと顔見知りにならないですし、その場所場所だけではそれで終わってしまいますので、一過性ではまずいと思います。ぜひそういった地域との繋がりも、これからは子育ての中の一つとして考えていただければと思っておりますので、よろしく願います。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水都っ子ウィークという、どうしてもその期間での活動・事業というのは限られてくると思いますが、結局はそれを中心にして広がりがないと日常的になっていかなければと思います。</li> <li>・牧田保育園のところに支援センターがありますが、指導員の方もとてもよくやってくださり、地域の方も応援していただいて、例えば時の方で、親子で一緒にサツマイモ掘りを体験させてくださるなど、すごく恵まれています。他の地域の子育て支援センターの活動を知りませんのでお聞きしたいと思うのと、やはりそういうことが市全体で充実していることが子育て日本一に大切なことかと思っています。</li> <li>・子育て日本一ということを何で測るかわかりませんので、結局は子育てをしている人たちが満足でき、大垣って本当にいいということを感じてもらうことが日本一になるのかと思います。</li> <li>・子育て日本一と大垣市は言っているけれど、どう思うか聞いたら、割と手厚いとは思うという答えもありました。これは、支援センターによく行ったり、そういう活動をしたりなど地域の方々に恵まれているので、そういうことを思っていると思います。ですので、そういう市全体で見たらどういふふうなのかを教えてください。</li> </ul>
担当課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域子育て支援センターというものが市内に6ヶ所ございます。その他に、駅前のキッズピア、南部に南部子育て支援センターがあり、支援拠点は現在8施設ございます。身近な地域で子育ての支援をしていくということで様々な活動をしており、牧田地域と同じようなことをそれぞれの支援センター等でも実施しているという状況です。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加人数というようなものを把握してみえますか。</li> </ul>
担当課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そこまでの数字は把握しておりません。</li> </ul>

委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上石津なんかは元々子どもの数が少ないので仕方ないのですが、やはり人数が少なかったということもありますので、他地域がどのように利用されているのかということを知りたいです。</li> </ul>
担当課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キッズピアの利用人数ですと、1日平均で68人の方にご利用いただいている状況でございます。そのほかに、地域子育て支援センターだけでなく、各地区センター等で曜日を決めて子育て交流サロンというものを実施させていただいております。そちらの利用人数ですが、南部子育て支援センターでは年間で4,352人になっております。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回目の会議のときに、この事業についての検証の観点ということでイベント集約の検証という議案を伺っておりましたが、何か集約すべき課題というものがあるのかどうかを伺いたしたいと思います。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回目の会議のときに、量ももちろんイベントとしては必要ですけども、質というか見せ方なども考えてはどうかというご意見をいただいたと思いますので、その観点でまたご意見をいただけるといいのかと思っております。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント一覧を見せていただくと、何か集約の必要があるのかどうかという両面をちょっと考えさせられるところがあります。これを見る限りは、担当の部局や施設ごとに創意あるイベントが企画されていますので、多様であることが裾野の広さのように思えます。一方で、それぞれ担当される方同士の実施状況についての総合確認や、現状の検証といったやり取りみたいなものをされていく必要があるように感じております。</li> </ul>
担当課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの課でできることを今実施していただいて、それをこの水都っ子ウィーク期間に関連付けて整理をさせていただいております。その中で、参加者の方が自由に自分から行きたいところ、自分の興味のあるところに参加していただくことが大切だという思いもあります。この方はこちらに参加してくださいではなく、自分から参加したい事業を見つけていただいて、参加いただくことが大切なのかと思っております。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て支援課長さん、ありがとうございました。</li> <li>・これをもちまして、事務事業の検証を終了します。</li> </ul> <p>※ 事務局に対し、「令和5年度事務事業見直しの提言（案）について」の説明を要請。</p>

事務局	※ 令和5年度事務事業見直しの提言（案）についての説明。
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提言案についてご意見をお伺いしたいと思います。ご意見ございましたらよろしくお願いいたします。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この提言案から受けた印象ですが、公共施設配置のビジョンといいますと、何かすごいものを明確化することを望みますといったイメージを受けました。</li> <li>・先ほど検討の時に、人口ビジョンの目的と公共施設の間には施策があるというふうに申しあげましたけれども、あくまでも重要なのは施策であって、これによって公共施設のビジョンも当然変わってくると思います。</li> <li>・提言案では、公共施設のビジョンを明確化することにスポットが当たってしまっているような印象がありますので、「ビジョン」というのを、例えば「方向性」という言葉に変える、あるいは「明確化」という言葉を例えば「方向性を策定する」「方向性の検討を求めます」というような、ちょっと表現を柔らかくした方がいいのではないかと思います。</li> <li>・「多様な視点から施設を分類し、分類ごとに設定した基準により判断し、客観的な数値基準を用いる方法が合理的であると考えます」となっておりますが、これはかなり難しいと思います。これも「多様な視点から施設を分類し」まではいいと思いますが、「分類ごとに設定した基準により判断し」というのは、削除してもいいと思います。その後に「可能な限り客観的な数値基準を用いることが合理的であると考えます」というような表現にした方がいいのではないかと思います。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設の適正配置基準というところを、どんな形で盛り込むかは大丈夫でしょうか。おそらくこの部分がものすごく大事だと思います。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・案では「公共施設配置のビジョン」というのを大上段に構えた表現をしておりました。それをも少し柔らかくというご意見をいただきましたが、どの辺まではっきり書くのか書けないのかということかと思いますが。</li> <li>・配置という言葉は残すということによろしいでしょうか。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・配置はものすごく大事なキーワードだと思います。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・配置がないと、公共施設の方向性になってしまいます。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「方向性の検討にあたり、施設の利用状況で今後の需要予測等を、総合的に分析」の部分ですけれども「施設の利用状況と今後の需要予測等を踏ま</li> </ul>

	<p>え」ではないでしょうか。予測を分析するという意味になってしまいます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の利用状況と今後の需要予測等を分析するというふうに読めますので、それは予測を踏まえて総合的かつ客観的に分析するということです。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今ご指摘のあったところと、先ほどの「可能な限り客観的な数値基準を用いることが合理的であると考えます」のところで、客観的が二つ重なっておりますので、今のところは「総合的に分析することが重要です」でいいかと思います。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それ以外の事業について、ご意見等ないでしょうか。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民農園については出された意見がうまく入っておりますのでいいと思います。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それでは令和5年度事務事業の見直しの提言につきまして、文言の最終的な調整は、会長に一任いただくということでご了解をいただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。</li> </ul>
委員一同	<p>※ 異議なし</p>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それでは次回の審議会において、私から市長に提言書を提出させていただきます。</li> <li>・最後にその他でございます。全体通して何かございましたらよろしく願いいたします。</li> </ul>
委員一同	<p>※ 特に意見なし</p>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それでは特にご意見等ございませんので、これで終了させていただきます。進行を事務局の方にお返しいたします。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・谷江会長を始め委員の皆様方から、貴重なご意見を様々いただきまして本当にありがとうございました。次回の審議会は、10月31日（火）午後1時30分から、大垣市役所4階会議室4-4で開催します。</li> <li>・令和5年度事務事業見直しの提言の市長への提出を予定しております。</li> <li>・以上をもちまして、令和5年度第2回 大垣市行政改革推進審議会を終了させていただきます。</li> </ul> <p>※ 閉会（終了時刻：午後4時10分）</p>